

環境配慮塗料

シントー水性Mシーラー

カチオン形1液自己架橋エマルジョンシーラー

密着性

新設時の基材へ高い密着性を有しています。また、塗替え時の既存膜との付着性も優れているため、幅広く使用できます。

浸透性

脆弱性な下地、ケイカル板への浸透性に優れています。また水溶性のヤニ、しみ抑えにも効果があります。
(しみ程度により上塗りの隠ぺい性に影響が出ることがあります。)

低VOC・低臭

塗料中は意図的にVOCを配合していません。低臭の水性塗料なので、塗装後の臭気も少なく、室内でも安心して使用できます。

用途

各種水性仕上塗材の下塗り塗料

【適用上塗り塗料】

- ページシリーズ
- ページ G F4 3分艶
- 水性スペースエース各艶
- シントー水性グランツシリーズ

* 上塗りに溶剤系塗料での塗装は避けてください。

適用部位・下地

- 建築外部壁面
- 建築内部壁面および、床面・天井面

コンクリート、モルタル、
プラスターボード、ケイカル板

商品構成

15kg/石油缶 色相：クリヤー

塗面積 150~300㎡/缶

下地の形状や状態による使用量の増減により、塗面積が変動することがあります。



標準塗装仕様

【コンクリート・モルタル・プasterボード面】

工程	塗料名 (水道水)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	被塗面に付着している汚れ・ごみ・粉等を除去し、清浄な面とする。					
下塗り	シントー水性Mシーラー	無希釈	0.05~0.10	1	はけ ローラー	2時間以上
上塗り	ページ 50 F4 (水道水)	5~15	0.10~0.13	2	はけ ローラー	3時間以上

【旧塗膜面】

工程	塗料名 (水道水)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
下地調整	ごみ、ほこり、チョーキング粉、旧塗膜の脆弱部をサンドペーパー等を用いて除去する。 ヤニ汚れ、しみ等がある場合は中性洗剤等を用いて除去し、その後十分に水拭きし、乾燥させて清浄な面とする。					
下塗り	シントー水性Mシーラー	無希釈	0.05~0.10	1	はけ ローラー	2時間以上
上塗り	ページ G F4 3分艶 (水道水)	5~15	0.10~0.13	2	はけ ローラー	3時間以上

- 使用量は被塗物の形状や吸い込みなどの状態によって、増減することがあります。
- 被塗面の汚れ(ヤニ、しみ)の程度により上塗りの隠べ性に影響することがあります。
- 上塗りに弱溶剤系塗料を使用する場合は、塗装間隔は16時間以上としてください。

注意事項

■ 施工上の注意事項

- 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは採暖対策が必要です。
- 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
- 結露が予測される場合は塗装を避けてください。(特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してください。)
- コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケット科学研究所製CH-2)または5%以下(ケット科学研究所製Hi500シリーズ)で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。
- ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑剤を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。

■ 取扱いに関する注意

- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 塗料の取り扱い、屋外または換気の良い場所で行ってください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
- 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
- さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。
- 塗料開缶は原則として使用する直前に行き、開缶したものは、その日のうちに使用してください。
- 開缶後や作業中断時など、塗料が入った容器を放置していると表面乾燥する場合がありますので、常にフタをするように心がけてください。
- 「シントー水性Mシーラー」は、カチオン系エマルジョン塗料です。一般の水性塗料と混合するとゲル化することがあります。ローラー、はけの共有は避けてください。
- 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。
- 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開缶の塗料は出来るだけ直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

■ 塗装に関する注意事項

- 水系塗料ですので、シンナー類の混合は絶対に避けてください。
- 下地の形状、状態および温度、湿度、換気状況などにより、使用量増減、塗装間隔時間が変動することがあります。
- 被塗面にヤニ汚れ、しみ等がある場合は中性洗剤等を用いて除去し、十分に水拭き、乾燥させてから塗装してください。
- 被塗面の汚れ(ヤニ、しみ等)の程度により、上塗りの隠べ性に影響することがあります。
- 上塗りに溶剤系塗料での塗装は避けてください。
- 塗装中または塗装終了後の乾燥中は、換気を十分に行ってください。

■ 緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。

■ 廃棄

- 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■ 保管

- 塗料の保管は関連法規を遵守してください
- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 ※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
 ※ ご不明な点に関しましては、弊社間問い合わせ先までご連絡願います。



くらしゆたかにあざやかに未来を創造するコーティング

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
 東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952
 東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
 静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。